

【事例発表】

令和5年度 みやぎ震災伝承連携推進事業補助金 採択事業
「Voice～仙台市東部沿岸地域の伝承と物語～」
演劇創作・上演ワークショップ



公益財団法人仙台市市民文化事業団

事業概要

震災前からの仙台市東部沿岸地域の伝承や物語を、演劇の創作を通して探求し舞台作品として上演する市民参加型のワークショップ事業。

年齢や演劇経験、震災当時の状況も異なる13名のメンバーが、地域の方々から話を聞き、実際に沿岸地域に足を運んで、「いまに伝えたい」「未来に残したい」様々なエピソードを集め、演劇の創作・上演を行った。



◆ 事業名: 「Voice～仙台市東部沿岸地域の伝承と物語～」さぐる・つたえる 演劇創作・上演ワークショップ

- 実施期間: 2023年9月17日(日)～2024年3月9日(土)
- 会場: せんだい3.11メモリアル交流館、日立システムズホール仙台、宮城野区文化センター
- 講師: 高橋菜穂子(一般社団法人東北えびす)
- メンバー: 仙台市内およびその周辺地域に居住する10～20代の市民(演劇経験不問)

- 主催: 公益財団法人仙台市市民文化事業団、仙台市
- 制作連携: せんだい3.11メモリアル交流館
- 協力: 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 宮城野区文化センター

制作期間: 2023年7月～2024年3月

- 参加者公募期間: 2023年7月上旬～8月13日(日)
- ワークショップ: 2023年9月17日(日)～2024年2月25日(日)(全13回)
※9～11月はせんだい3.11メモリアル交流館、12～2月は日立システムズホール仙台で実施
- 上演: 2024年3月9日(土) 15:00開演(14:30開場) 宮城野区文化センター パトナシアター

事業の様子 メンバーについて



一般公募により集まったのは、10～20代の年齢や演劇経験の異なる13名のメンバー。

最年少は高校一年生の16歳で、震災発生当時は未就学児童だったため、当時の記憶はほとんどない。
また、県外出身のメンバーも複数おり、彼ら・彼女らの多くが「震災を知らないからこそ、自分から学んで、同世代やもっと下の世代にも伝えていきたい」という使命感をもって参加した。



2021年度のせんだい3.11メモリアル交流館の企画展、また2022年度の日立システムズホール仙台での上演に引き続き、演出家の高橋菜穂子氏が講師としてワークショップを率いた。

また、ワークショップでは仙台で活動する3名の舞台俳優が、メンバーへの創作面でのサポートや演技の指導を行った。

また、仙台市東部沿岸地域(高砂、七郷、六郷)で伝承活動を行う地域の方をアドバイザーとして招き、震災前の風景や地域の風習についてお話を伺った。

事業の様子 創作について



ワークショップの前半(9~11月)ではせんだい3.11メモリアル交流館との連携のもと、同館の施設見学、東部沿岸地域へのバスツアー、資料収集などを行った。

バスツアーでは東部沿岸地域で活動されている方のもとを訪ね、一緒に土地を歩きながら震災前の風景や暮らしの様子、土地の由来についてのお話を伺った。



ワークショップの後半(12~2月)では、高砂・七郷・六郷の3つのチームに分かれ、グループワークによる演劇創作を行った。

前半で調べた各地域の風習や言い伝えなどを題材に、チームごとに3~4本ずつ短い上演台本を執筆。

舞台上での動きや音などの演出をグループで相談しながら作品として仕上げ、1月末の「中間発表」で関係者に披露した。

「中間発表」にはワークショップ内で話を聞かせてくれた地域の方や伝承に携わる方、演劇関係者、報道関係者など30名が出席した。

事業の様子 上演について



ワークショップの成果発表として、宮城野区文化センター パトナシアターを会場に演劇公演を行った。

公演には150名が来場、ゲネプロの見学も含めるとのべ190名が鑑賞した。

来場者からは
「若い人たちが伝える意味が大切だと思った」
「若い人たちの感性で捉えることで、失ったことやものに希望を感じる物語になっていた」
「リサーチが良くなされていた」
「震災を知らない世代に届けるための取り組みとして素晴らしかった」
「今後も様々な伝承が演劇という形で継承されていくと良いと思う」といった感想が寄せられた。



事業成果

- 震災の記憶・経験の蓄積と発信



仙台市東部沿岸地域で活動を行ってきた方へのインタビューや、バスツアーなどを通して、10～20代の若い世代が地域の歴史や震災の記憶を学ぶ機会を設けた。また、資料や文章の形で保存されてきた仙台市の東部沿岸地域の物語や伝承を、演劇作品として広く一般に発信した。

- 伝承を担う人材の育成



震災発生当時から伝承活動を行ってきた仙台在住の俳優たちがワークショップサポーターとして参加者と一緒に活動を行うことで、震災経験や世代を超えた継承を実践した。年代や震災経験の差を超えてともに活動する場を創出することで、“震災伝承の担い手”を志す表現者の育成につながった。

- 多様な主体との連携



せんだい3.11メモリアル交流館との制作連携のほか、仙台で活動する演出家・俳優・音楽家・技術スタッフらと連携して作品創作を行うことで、それぞれの専門性を活かした新たな伝承の形を実現した。また、上演にあたっては宮城野区文化センター(公益財団法人仙台ひと・まち交流財団)と共催し、同館主催事業の震災復興交流事業の関連事業として展開した。



せんだい3.11メモリアル交流館

@user-cb4yq1gv3w · チャンネル登録者数 48人 · 16本の動画

せんだい3.11メモリアル交流館のYouTubeチャンネルです。 >

チャンネル登録

ホーム 動画 ショート ライブ 再生リスト コミュニティ 🔍

ショート



鳴り砂 (手で鳴らす)
263 回視聴



鳴り砂 (スリ足で鳴らす) 0
867 回視聴



とらわらアートの搬出② (トラック)
501 回視聴



とらわらアートの搬出① (運び)
206 回視聴

動画 ▶ すべて再生



若者たちが挑んだワークショップ&演劇公演 半年間の...
270 回視聴 · 11 日前



『スズムシ』づくり
68 回視聴 · 1 年前



『ミニほらき』づくり
80 回視聴 · 1 年前



『芋版』feat.「うさぎ」
320 回視聴 · 1 年前



藤打ち ReRootsボランティアハウスで
298 回視聴 · 1 年前



『輪通し』づくりに挑戦！
148 回視聴 · 1 年前



ダイジェスト映像
若者たちが挑んだワークショップ&演劇公演
半年間の記録



せんだい3.11メモリアル交流館のYouTubeで
ご覧いただけます